

1 基本的事項

策定趣旨	コロナ禍を経て顕在化した課題への対応や、人口減少社会において、観光が地域を支える基幹産業として、県内総生産の維持や地域経済の活性化に寄与するために、県や市町村等の行政機関、観光事業者、住民、観光客などが一体となって、総参加による魅力あふれる観光地域づくりを推進するため、観光政策の基本計画として策定するもの。
計画の位置づけ	■みやぎ観光創造県民条例に定める基本計画 ■新・宮城の将来ビジョンに掲げる分野別計画
計画期間	令和7年4月から令和10年3月まで【3か年】

2 基本理念・目指すべき姿

基本理念（案）

地域が主役となる持続可能な観光地域づくりを通した
“All round”な観光地の実現

“多種多様な”方々が集う観光地

国内外から関心が高く、老若男女問わず訪れたいと思える観光地を目指します。

“オールシーズン”賑わう観光地

四季折々の観光コンテンツを軸に、平日及び閑散期における観光需要の底上げを図ります。

宮城県を玄関口に“東北全体”へ誘客拡大

東北地方のゲートウェイとしての機能を果たし、宮城県が率先して、東北地方への誘客拡大を図ります。

観光を核に“地域経済全体”を活性化

交流人口の拡大により、地域の産業や雇用を創出し、地域経済の活性化を図ります。

関係者全員参加型

行政機関や観光事業者、観光団体などと継続して意見交換を行い、全員参加型で魅力ある観光地をつくります。



本県の観光が目指すべき姿

地域資源を活かした観光コンテンツの提供により、県内の隅々まで観光客が訪れる観光地を目指します。
戦略1

地域経済の活性化に向け、地域を支える基幹産業である観光産業の持続的な発展を目指します。
戦略2

観光客の受入基盤を強化し、質の高いサービスの提供により、何度も訪れたい観光地を目指します。
戦略3

宮城でしか経験できない価値を効果的かつ積極的に情報発信し、国内外から訪れたい観光地を目指します。
戦略4

3 数値目標

設定の考え方

■第5期プランで定めた3つの指標（宿泊観光客数、外国人観光客宿泊者数、観光消費額）は継続的にモニタリングする。

■宿泊観光客数については、圏域ごとにR元年水準までの回復率に差が生じていることから、圏域ごとの目標値を設定する。

■観光消費額の増加に向け、「質」の向上を意識し、新たに観光消費額単価を追加する。

目標指標		R元	R5年	R9年
1	宿泊観光客数	989 万人泊	943 万人泊	1,104 万人泊
2	外国人観光客宿泊者数	53.4 万人泊	51.5 万人泊	120 万人泊
3	観光消費額	3,989 億円	3,985 億円	5,300 億円
4	観光消費額 日本人 単価	22,710 円／人	26,640 円／人	29,000 円／人
	外国人	54,526 円／人	71,768 円／人	79,000 円／人

※宿泊観光客数については、圏域ごとに回復率に差が生じている状況を踏まえ、圏域ごとの目標値を設定予定

	R元(実績値)	R5(確報値)	R元年比	R9(目標値)
仙 南 圏 域	71 万人泊	63 万人泊	88.7 %	75 万人泊
仙 台 圏 域	742 万人泊	727 万人泊	98.0 %	830 万人泊
大 崎 圏 域	77 万人泊	54 万人泊	70.1 %	87 万人泊
栗 原 圏 域	11 万人泊	9 万人泊	81.8 %	11 万人泊
登 米 圏 域	9 万人泊	8 万人泊	88.9 %	9 万人泊
石 巻 圏 域	38 万人泊	42 万人泊	110.5 %	44 万人泊
気仙沼・本吉圏域	42 万人泊	40 万人泊	95.2 %	48 万人泊

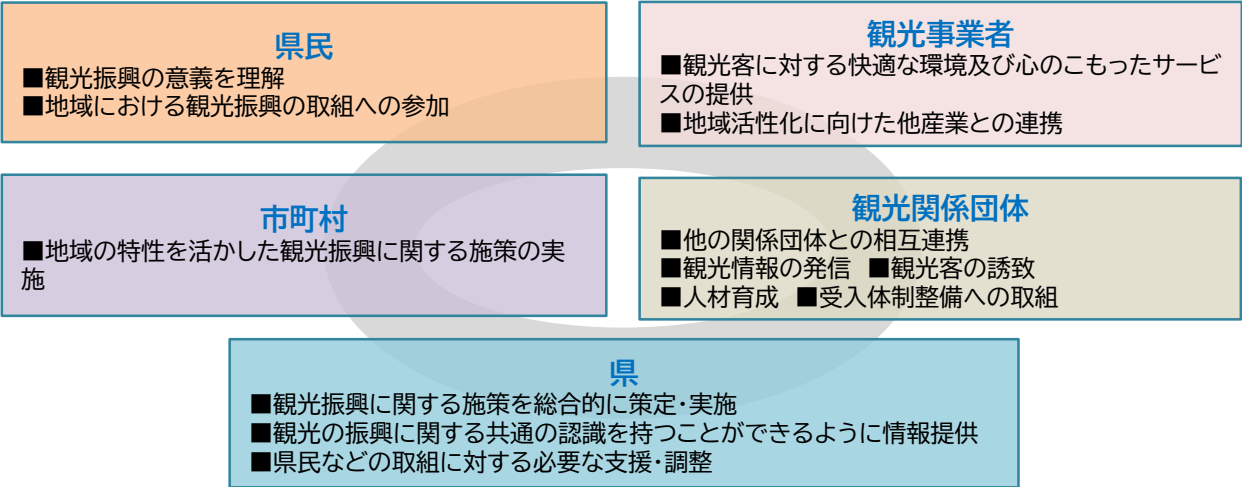
観光成果指標の設定

■上記に加え、観光施策による成果・検証を行うため、毎年度以下の項目を「観光成果指標」として継続的にモニタリングする。

【指標例】リピーター率／再来訪意向／観光地としての推奨度／県民の出国者数／外国人観光客に対する受入意向／サステナブルツーリズムに対する認知度

4 観光推進体制

■第6期みやぎ観光戦略プランを推進するためには、みやぎ観光創造県民条例に基づき、県、県民、観光事業者及び観光団体などが各々の役割を認識し、県民総参加で観光地域づくりを推進していく必要がある。



第6期みやぎ観光戦略プラン最終案②

5 みやぎの観光を取り巻く状況(現状・課題)

社会背景	■人口減少社会において、交流人口や観光消費額の減少により、地域の衰退につながる恐れ
	■観光立国推進基本計画において、インバウンド回復戦略に基き、インバウンドの誘客促進
	■観光産業は、デジタル化の遅れに象徴される生産性の低さや人材不足といった積年の構造
	宿泊数増加による観光消費額拡大
	■コロナ禍によりスタッフの離職が相次ぎ、人員不足が深刻な状況にあり、人手不足のために、
	観光客受基盤整備の強化

6 観光戦略プロジェクト

的に取組みを進めていく	
-------------	--

戦略1

魅力ある観光資源の創出

(1)地域色を活かした観光コンテンツの創出

(2)みやぎの「食」、「自然」、「歴史・文化・芸術」の魅力向上

(3)東日本大震災の記憶・教訓の伝承

(4)DMOの体制強化

戦略2

観光産業の活性化

(1)人手不足対策

(2)観光人材の育成・確保

(3)新たな旅のスタイルへの対応強化

戦略3

観光客受入環境整備の充実

(1)観光地・観光産業の高付加価値化

(2)インバウンド受入環境整備の推進

(3)ユニバーサルツーリズムの推進

(4)オーバーツーリズム対策の推進

(5)交通アクセスの充実

(6)安全・安心な自然公園施設等の整備

(7)地域住民の「おもてなし」意識の醸成

戦略4

国内外との交流拡大の促進

(1)デジタルマーケティングの推進

(2)戦略的な観光プロモーションの強化

(3)市町村、関係団体等と連携したプロモーションの強化

(4)ツーウェイツーリズムの推進

(5)スポーツツーリズムの推進

(6)ゲートウェイ機能を活用した誘客の推進

7 取組の方向性

魅力ある観光資源創出				※プラン本体のページ番号
	地域色を活かした観光コンテンツの創出			P28
	みやぎの食」「自然」、「歴史・文化・芸術」の魅力向上			P29 30
	東日本震災の記憶・教訓の伝承			P31
				P31

戦略2			
	人手不足対策		P32
	観光人材の育成・確保		P32 33
	新たな旅のスタイルへの対応強化		P34

戦略3 観光客受入環境整備の実現			
	観光地・観光産業の高付加価値化		P35
	インバウンド受入環境整備		P35
	ユニバーサルツーリズム		P36
	オーバーツーリズム対策		P36
	交通アクセスの実現		P37
	安全・安心な自然公園施設等の整備		P37
	地域住民の「おもてなし」意識の醸成		P38

国外との交流拡大の促進			
	デジタルマーケティングの推進		P39
	戦略的な観光プロモーションの強化		P39
			P40
	ツーウェイツーリズムの推進		P40
	スポーツツーリズムの推進		P41
	ゲートウェイ機能を活用した誘客の推進		P41 2

8 各圏域の施策の方向



栗原

～～豊かな自然や歴史、文化を活かした、
くりはら田園観光都市の実現～～

①栗駒山や伊豆沼・内沼等の地域資源を活用したコンテンツ
造成・ガイド人材の育成による滞在型観光の推進

②宿泊施設や観光施設等における言語や多様な食習慣等の
インバウンド対応強化・認知度向上に向けた情報発信

③**周辺地域の自治体やDMO等**と連携した平泉や仙台・三陸
沿岸部と絡めた周遊ルート造成等、さらなる誘客に向けた広
域的な取組の強化

大崎

～～世界農業遺産「大崎耕土」の自然・歴史・
文化・食を活かした持続可能な観光の推進～～

①鳴子温泉郷を軸とした賑わい創出の取組への支援や観光
コンテンツの高付加価値化推進、二次交通の充実や他地
域との連携による周遊・長期滞在の環境整備

②**高品質な食材や史跡等の**観光資源を活かした旅行商品開
発・教育旅行及び農泊の受入態勢充実とMICEの誘致等

③圏域内でのDMO創設や**観光地域づくりをけん引する新たな
人材との連携**、体制強化への支援・ターゲットを絞った観光
情報の発信、観光DXの推進

仙南

～～いっちゃね、みやぎ仙南！「みやぎ
蔵王」ブランドを広域で推進！ ～～

①**仙南圏域の象徴「みやぎ蔵王」をはじめとする圏域の多彩な
観光資源を活用した広域周遊促進**

②**旅行需要の変化に対応した宿泊スタイル、滞在型メニューの
充実や教育旅行の誘致**

③**仙南圏域の特色ある観光コンテンツを活用したインバウンド
観光客の誘客促進**

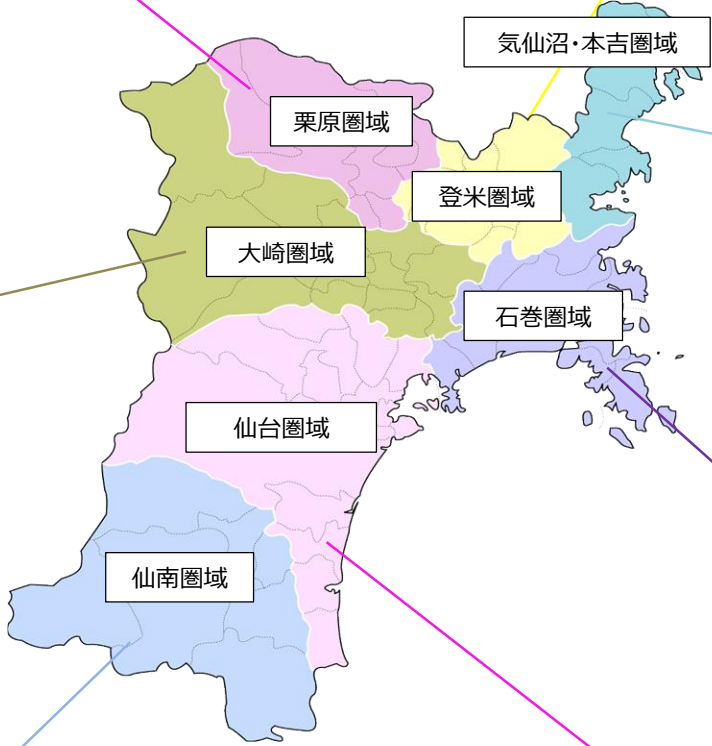
仙台

～～東北・宮城のゲートウェイ機能を活か
した周遊性に優れた観光地づくり～～

①テーマ性・ストーリー性のある観光ルートの造成による圏域
周遊観光の推進、教育旅行の推進

②観光客のニーズ・嗜好に応じたSNSや動画コンテンツを活
用した魅力発信、圏域内の市町村や仙山交流のネット
ワークを活用した情報発信強化

③DX化や高付加価値化の観光コンテンツづくり、持続可能
な観光地域づくりに関する研修や情報交換会の開催を通
じた観光人材育成支援



登米

～～自然と歴史が織りなす うまし
うつくし 登米の旅～～

①伊豆沼・内沼をはじめとする豊かな自然や郷土料理「はっと
汁」等の食文化など、既存の観光資源の魅力の再認識
と圏域ならではの魅力あるコンテンツづくり

②グリーンツーリズムの充実や圏域内の農畜産物を活用した
手作り体験と農泊を組み合わせた滞在交流型観光の推進

③事務所公式SNS「はっとめーしょん」等を活用し、ターゲ
ットに応じた情報発信の強化

気仙沼
本吉

～～観て、食べて、感じて しおかぜ育む
三陸の魅力を再発見～～

①海産物をはじめとする地域の食をテーマとしたガストロノ
ミーツーリズムの推進・トレイルやマリンスポーツ・化石発掘
体験、キャンプ等のアクティビティを活用したアドベンチャー
ツーリズムの推進

②気嵐や星空観測、魚市場見学など、圏域ならではの夜間・
早朝のイベントを活用したツアー造成

③多言語対応の観光案内板の整備や通訳ガイドの育成など
によるインバウンドの受入環境整備の推進

石巻

～～海まち 空まち 心まち
次の旅先 いしのまき～～

①地域の特色を活かした「石巻圏域ならではの」観光プログラ
ムの開発及び宿泊施設における高付加価値化やサービス充
実への支援などによる滞在型・周遊型観光の推進

②「石巻圏域ならではの」文化や自然を生かした特別な体験プ
ログラム等のサービス充実などによるインバウンド獲得に向けた
観光資源の磨き上げ

③近隣地域との連携を強化し、広域的な観光ルートの企画や
交流イベントなどによる交流人口・関係人口の拡大に向けた
地域間交流の推進

④DMO、市町及び企業・関係団体など、地域一体となった
観光振興の推進等